



作業療法士

どんな仕事？

生活に必要な動作能力の回復を図る

身体障害を持つ人に対して、日常的な身の回りの活動(食事・入浴など)や社会的活動(交流・仕事など)を回復するための訓練を行うほか、精神障害を持つ人の自立や社会復帰を支援します。障害の特性やその人の好みにより、①食事などの日常動作 ②木工・絵画などの創作 ③遊び ④スポーツなどを用いるほか、自助具の開発や住宅環境の改善を行います。

どこで働く？

バラエティに富んだ活躍の場

- 病院・リハビリテーションセンター
- 乳幼児発達相談事業
- 訪問などの地域医療
- 特別支援教育
- 高齢者介護予防事業
- 医療福祉用具の研究・開発

など

障害を持つ方がその人らしく生活をするために、作業を通して支える

仕事の展開と将来の展望

生活する環境に着目した支援

障害を持つ人が日常生活や社会生活をスムーズに送るための複合的な支援を行う作業療法は、身体に障害のある人だけでなく、精神障害や発達障害(自閉症・学習障害など)の人も対象にしています。対象者がその人らしい生活を獲得するために、医療機関にとどまらず、保健・福祉・教育などの領域を含めた身近な地域の場で中心的な役割を果たすことが期待されています。

OG VOICE

患者さんが回復された姿を見るときは、心の底から嬉しくなります

服のボタンを留めたり、お風呂やトイレに入ったりなど、日常生活のなにげない動作が病気や障害でうまくできない患者さんに、リハビリテーションの援助をしています。私の勤める病院は急性期の病院なので、長期のリハビリテーションが必要な患者さんはやがてほかの病院に転院されます。以前、退院時は車椅子だった方が、車椅子ではなく自力で歩いて訪ねて来られ「ここまでよくなりました」と言っていただけときは、心の底から嬉しかったです。



楠 美結さん

国際医療福祉大学三田病院 勤務
小田原保健医療学部
作業療法学科 卒業

どうすればなれる？

- 作業療法士国家試験に合格しなければなりません。

受験資格を得るには…

文部科学大臣指定の学校で3年以上学び、必要な知識・技能を修得する
厚生労働大臣指定の専門学校で3年以上学び、必要な知識・技能を修得する
などの方法があります。

高校卒業

大学 作業療法学科など (4年)

短大 作業療法学科など (3年)

専門学校 作業療法学科など (3~4年)

作業療法士
国家試験合格

作業療法士